

これまでに資格認定された方の人数

医療情報技師

28,074 名

第1回(2003年)～第22回(2024年)の累積認定者数

上級医療情報技師

558 名

第1回(2007年)～第18回(2024年)の累積認定者数

医療情報技師育成事業について

日本医療情報学会では、医療情報に関する専門職である医療情報技師の育成事業を行っています。医療情報技師育成部会では、医療情報技師と上級医療情報技師の到達目標の策定、各種の検定試験の実施、教科書の発刊、生涯研修セミナーやe-Learningの企画・実施などを通して、医療情報基盤の整備からデータの利活用までを担う医療情報技師および上級医療情報技師の育成を推進しています。

試験に関する詳細はホームページをご確認ください。

<https://www.jami.jp/hcit/>

医療情報技師



【問い合わせ先】

一般社団法人 日本医療情報学会 医療情報技師育成部会
〒113-0033 東京都文京区本郷 2-17-17 井門本郷ビル2階
TEL: 03-3811-4167 E-mail: hcit-office@umin.ac.jp

2025年3月

医療情報技師 / 上級医療情報技師とは

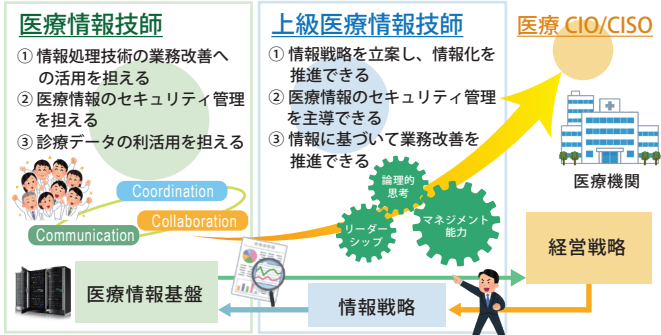
医療情報技師は、医療情報システムの導入や運用や、これからの時代に重要になる医療分野のDX(デジタルトランスフォーメーション)のための情報基盤づくり、サイバーセキュリティ対策のために有用な資格です。

医療従事者とシステムエンジニアが病院等で医療情報システムに関する議論をするには、「医学・医療」「情報処理技術」「医療情報システム」から成る3つの領域の知識・技術、および「Communication」(他職種と意思疎通を図る)「Collaboration」(他職種と協力して対応する)「Coordination」(部門間や職種間の調整を行う)の3Cの資質を共通にもっておくことが必要であると私たちは考えています。

医療情報システムの運用には、病院等の業務を理解しているとともに、法令・ガイドラインを正しく理解して、情報処理技術を適用していくことが求められます。

医療情報技師はこれらに必要な能力を証明する資格です。

医療情報基盤の整備からデータ利活用の実践までを担える人材



本資格の取得を奨励することのメリット

医療機関が職員に医療情報技師の資格取得を促すことや資格を有する人材を獲得することにより、情報処理技術を上手に活用して経営課題に取り組めることが期待できます。

IT関係企業にとっても医療機関が企業に寄せる要求や期待を十分に理解することができるようになり、パートナーとして円滑なやりとりが図れるようになることが期待できます。



医療情報技師／ 上級医療情報技師 ガイドブック

Healthcare Information Technologist and
Senior Healthcare Information Technologist

医療 × DX



一般社団法人 日本医療情報学会
医療情報技師育成部会

Healthcare Information Technologist Development Committee
Japan Association for Medical Informatics

医療情報基礎知識検定試験

医療情報を扱うすべての人がもっておくべき基本的な知識・技術の確認

医療情報基礎知識検定試験は、医療情報の基本を学びたい医療従事者、学生、社会人向けの入門レベルの試験で、医療制度、情報処理技術、個人情報保護、医療情報システムなどに関する基礎知識を評価します。

試験日	原則として、6月上旬と11月上旬の年2回
試験会場	公募制（医療機関、事業所、教育機関などで受検できます）
出題方法	四者択一形式、80問（マークシート形式）
受験料	5,000円（税込）
試験範囲	医療情報を扱う人が誰でも共通にもっておくべき、以下の領域の基礎知識を問います。

- 医療制度と医療関連法規
- 病院業務と病院の運営管理
- 医療情報の特性と医療の情報倫理
- コンピュータの基礎
- 情報システムの基盤技術
- 医療情報システムの構成と機能
- 医療情報の標準化と活用

教科書、過去問題・解説集

- 「医療情報 医学・医療編」
- 「医療情報 情報処理技術編」
- 「医療情報 医療情報システム編」（発行：篠原出版新社）



- 「医療情報技師能力検定試験過去問題・解説集」
- 「医療情報の基礎知識」（発行：南江堂）



2025年3月

医療情報技師能力検定試験

医療情報を安全かつ適切に管理・活用・提供する保健医療福祉分野の専門職の認定

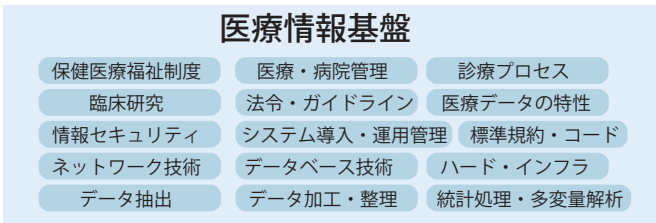
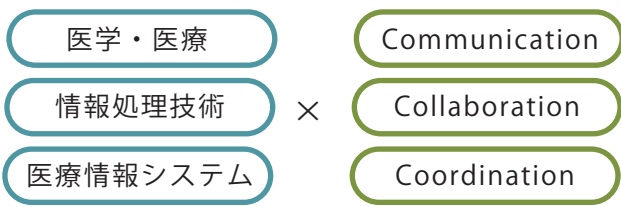
医療情報技師能力検定試験は、医療情報システムの運用管理を担う実務者に求められる医学・医療、情報処理技術、医療情報システムの知識を評価し、医療の質と安全の向上に貢献できる人材を認定します。

受験資格	なし
試験日	毎年8月下旬（年1回）
試験会場	全国13会場（北海道、宮城県、東京都、新潟県、石川県、愛知県、大阪府、岡山県、広島県、香川県、福岡県、鹿児島県、沖縄県）
受験料	15,000円（税込） ※ はじめて受検される方
試験科目	医学・医療系、情報処理技術系、医療情報システム系
試験内容	教科書「医療情報 医学・医療編」、「医療情報 情報処理技術編」、「医療情報 医療情報システム編」の内容から主に出題します。 ※ 詳細は試験実施概要を確認してください。
試験方法	マークシート方式による多肢選択試験
科目合格制度	医療情報技師の資格は3科目の合格により認定されます。 また、科目ごとの合格制度（2年間有効）があります。

医療情報技師とは

保健医療福祉の質と安全の向上のために、医療の特質をふまえ、最適な情報処理技術を用い、医療情報を安全かつ適切に管理・活用・提供することができる保健医療福祉分野の専門職

- 情報処理技術の業務改善への活用を担える
- 医療情報のセキュリティ管理を担える
- 診療データの利活用を担える



上級医療情報技師能力検定試験

保健医療福祉分野の情報化と医療情報の利活用を包括的に推進する中核人材の認定

上級医療情報技師能力検定試験は、医療情報部門のリーダーを目指す方向けの試験で、幅広い知識と実践力、マネジメント能力などを評価し、組織の情報化と医療情報の利活用を推進できる人材を認定します。

受験資格	次の1、2のいずれをも満たしていること。 1. 医療情報技師の資格を有すること 2. 次のA、Bのうち、いずれかを満たすこと A. 医療情報システムに関する5年以上の職務経験を有すること B. 情報システムに関する5年以上の職務経験を有し、かつ医療情報システムに関する職務経験（期間は問わない）を有すること
【一次試験】	
試験日	毎年8月下旬（年1回）
試験会場	全国13会場（北海道、宮城県、東京都、新潟県、石川県、愛知県、大阪府、岡山県、広島県、香川県、福岡県、鹿児島県、沖縄県）
受験料	15,000円（税込）
試験方法	上級医療情報技師の定義ならびに上級医療情報技師の到達目標（GIO・SBOs）に基づき、午前試験（マークシート方式による筆記試験）・午後Ⅰ試験（マークシート方式・記述方式による筆記試験）・午後Ⅱ試験（小論文試験）を行います。 ※ 過去問題は医療情報技師育成部会のホームページから入手できます。
【二次試験】	
試験日	毎年12月上旬（年1回）
試験会場	東京都、大阪府
受験料	15,000円（税込）
試験方法	医療情報に関する活動履歴書にもとづく個別面接試験

上級医療情報技師とは

保健医療福祉の質と安全の向上のために、幅広い知識と豊かな経験を背景として、全体最適の観点から保健医療福祉分野の情報化と医療情報の利活用を総括的に推進できる医療情報技師

- 情報戦略を立案し、情報化を推進できる
- 医療情報のセキュリティ管理を主導できる
- 情報に基づいて業務改善を推進できる

医療 CIO/CISO

経営戦略

